

2022 Tahmazo フェスティバル in 京都 詳細競技ルール

(以下のルール案は参加者人数等の状況で変更可能性有)

競技1：電動グライダーによる滞空競技

- ・翼長最大 4m

以下。

- ・モーターに制約なし、LiPo は 3 セル以下。
- ・同時飛行を行うので 2.4GHz 帯無線機で参加願います。
- ・機体には識別コード（模型飛行士、ラジコン操縦士記号など）を表示すること。
- ・ストップウォッチを持参し、ジャッジなど競技の進行にご協力願います。

競技ルール

1. 予選は 2 ラウンド、飛行時間を競う（6 分 MAX）。
2. モーターラン 30 秒。30 秒後に速やかに停止（飛行時間に含まれ途中停止は失格）。
3. 合図で同時発航、手を離れてから機体が接地までの時間を計る。
4. 予選 1 R は当日発表のゼッケン順に 5 名ずつ同時飛行。
5. 予選 2 R は成績上位から 5 名ずつフライト。
6. 得点はポイント制で 1 位 20 点、2 位 12 点、続いて 8 点、6 点、5 点とします。
7. 同着の場合は同着順位の得点を合計し、同着者で等分に分配します。
8. 予選 2 ラウンドの得点を合計し、予選上位者 15 人以下で決勝飛行。
9. 決勝は飛行時間無制限（進行の都合で制限を設けることも有り）。
10. 予選、決勝を問わず機体は変更しても良い。
11. 当日の気象状況、参加人数などにより組の人数や飛行時間の変更あり。
12. 飛行上限高度、空域の違反は減点することもあります（当日説明）。

(注意) モーターは必ず 30 秒間回すルールです。モーターパワーの弱い機体でも安全な高度まで上昇し、逆に強力なモーターの機体は中スローなどで 30 秒間をやり過ぎす必要があると思います。機体を見失う危険性があると判断した場合は本部から注意警告します。適度な高度での飛行をお願いします。

競技2：タイムラリー&タッチアンドゴー競技

- ・2つの種目の得点合計で順位を決定。
- ・改正航空法の施行に伴い、飛行上限高度は地上150m以下でお願いします。

種目1：タイムラリーのルール

1. 3分間のタイムラリー。
2. 上空でトリム等を合わせた後、計時スタート。タイミングはジャッジがコール。
3. スタートから1秒ごとに1点を加算。3分を超えると1秒につき2点ずつ減点。
4. 定点着陸。滑走路に40m間隔でラインを描く。40m内は20点加算。
最初に接地したポイントで判定。着陸姿勢は問いませんが明らかな墜落は加算なし。
5. 当日の気象状況等により競技時間等を変更する場合があります。

種目2：タッチアンドゴーのルール

1. 離陸スタートから3分間で滑走路に何回タッチ&ゴーが出来るかを競う。
2. 接地後、次の接地までには180度以上の旋回が必要。
3. 滑走路と直角に40m間隔の平行線を引き、一回のパッシングで必ず両方の線（の延長線上）を超えること。
4. 接地の後、「動力飛行で」進入と反対側の線を超えた時点で1回とカウント。
5. 1回につき10点を加算。時間内であれば再スタートや部品交換は可能。
6. エンジン機は30%のボーナスポイントを加算。

競技3：チームタッチアンドゴー競技

- ・3人1チームで時間内（3分間）のタッチアンドゴー回数を競う。
- ・各機体には、1.2.3のナンバーをジャッジから見やすい所に掲示しておくこと。
- ・ナンバーの順番にタッチアンドゴーを行います。順番を飛ばすことはできません。
- ・時間内であれば、エンジンの再始動、プロペラ交換等は可能。

お願い：選手の皆さんはスケジュール表・エントリーリストを常に確認し、出番が近づけば本部横に待機して、スムーズな競技進行にご協力願います。

(以上)